



世界に誇れる日本の美しい景観・まちづくり
～全国47都道府県の景観を活かしたまちづくりと効果～

平成30年3月

国土交通省 都市局 公園緑地・景観課
景観・歴史文化環境整備室

はじめに

日本の各地には、美しい景観が広がっています。このような景観は、自然の中で形成されたものもあれば、人々の生活や生業の中で生まれ、市民や企業、行政等の多くの方々の取組により保全・再生されているものもあります。

本資料は、全国47都道府県における美しい景観とそれを支える人々の取組、さらにはその景観・取組によってもたらされたまちの賑わいや観光客の増加等の効果をとりとまとめています。

各地の景観の成り立ちについて理解を深めたり、美しい写真を見てそのまちを訪れたり、各地の取組を参考にして自身のまちづくりに活かしたり、様々な形で本資料を活用していただくと幸いです。

もくじ

- 01.北海道小樽市 小樽の新しい景観軸の創出と夜間景観の魅力向上
- 02.青森県弘前市 岩木山を活かした歴史的建造物の再配置
- 03.岩手県盛岡市 空き蔵を一体的に活用した観光拠点施設等の整備
- 04.宮城県登米市 商家や武家屋敷等の各地域の景観特性を活かしたまちづくり
- 05.秋田県仙北市 「みちのくの小京都」角館の景観づくりと観光振興
- 06.山形県山形市 中心市街地における歴史的資源の活用による潤いと賑わいの創出
- 07.福島県白河市 城下町「白河」の景観まちづくりと賑わい創出
- 08.茨城県大洗町 アニメと現実が融合したまちづくり
- 09.栃木県栃木市 市民との美化活動から始まった「蔵のまち」の再生
- 10.群馬県草津町 温泉街における観光客の心をくすぐる付加価値の創出
- 11.埼玉県川越市 小江戸川越の蔵づくりのまちづくり
- 12.千葉県香取市 地域住民や学生との協働によるまちづくり
- 13.東京都町田市 東京における里山と宿場町を活かしたまちづくり
- 14.神奈川県小田原市 屋外広告物の改善による駅前の顔づくり
- 15.新潟県南魚沼市 雪国の建築様式を活かした景観まちづくり
- 16.富山県南砺市 伝統産業と一体となった住民主体の景観まちづくり
- 17.石川県七尾市 温泉情緒が感じられる地元主体の景観まちづくり
- 18.福井県坂井市 三国祭りを中心とした住民主体のまちづくり
- 19.山梨県甲州市 美しいぶどう郷を創出する官民連携の景観形成
- 20.長野県長野市 善光寺周辺の歩きたくなる景観まちづくり
- 21.岐阜県中津川市 旧中津川宿における官民学協働の景観まちづくり
- 22.静岡県三島市 水と緑と人が輝く三島の景観づくり
- 23.愛知県豊川市 豊川稲荷商店街における産・官・学による昭和の賑わいの復活

- | | |
|-------------|------------------------------|
| 24.三重県伊勢市 | 伝統を守り、新たにつくる民間主体のまちなみ形成 |
| 25.滋賀県近江八幡市 | 市民による伝統風景の復活と次世代に引き継ぐまちづくり |
| 26.京都府伊根町 | 伊根浦舟屋群の地域資源を活用した景観まちづくり |
| 27.大阪府富田林市 | 歴史的まちなみの保全と住民による景観の演出 |
| 28.兵庫県養父市 | 鉱山資源を活用した地域活性化と景観まちづくり |
| 29.奈良県高取町 | 旧城下町と高齢者住民のもてなしを活かしたまちづくり |
| 30.和歌山県湯浅町 | 醤油醸造の発祥の地・湯浅における官民協働の景観まちづくり |
| 31.鳥取県鳥取市 | 城下町鹿野における住民主体の景観づくり・賑わいづくり |
| 32.島根県津和野町 | 面的な景観整備による城下町の継承 |
| 33.岡山県倉敷市 | 倉敷美観地区におけるまちなみ保存と夜間景観の創出 |
| 34.広島県尾道市 | “坂のまち”尾道の景観を活かしたまちづくり |
| 35.山口県長門市 | 温泉街の資源を活かした官民連携による景観まちづくり |
| 36.徳島県美馬市 | 官民一体となった歴史的まちなみの保全と地域の魅力向上 |
| 37.香川県観音寺市 | 官民連携による商店街の大幅リニューアル |
| 38.愛媛県内子町 | “町並み保存”と“村並み保存”による地域の魅力向上 |
| 39.高知県佐川市 | 歴史的建造物の再配置・集約による観光エリアの魅力向上 |
| 40.福岡県太宰府市 | 建築基準法の緩和による景観重要建造物を活かしたまちづくり |
| 41.佐賀県鹿島市 | 肥前浜宿における宿場町のまちなみ保存 |
| 42.長崎県長崎市 | 長崎市唯一の城下町「深堀」における住民主体の住環境の整備 |
| 43.熊本県熊本市 | 新町・古町地区の城下町の風情を感じられるまちなみづくり |
| 44.大分県豊後高田市 | 平成から昭和30年代のまちへの景観づくり |
| 45.宮崎県諸塚村 | 水害からの復興とともに生まれたまちなみと商店街の復活 |
| 46.鹿児島県鹿児島市 | 鹿児島市中心市街地における文化的な都市空間の形成 |
| 47.沖縄県那覇市 | 首里における赤瓦の伝統的な家並みの創出 |

A night scene in Otaru, Hokkaido, Japan, featuring a canal with floating lanterns and snow-covered buildings. The canal is filled with numerous small, glowing lanterns that reflect on the water. The buildings along the canal are covered in snow, and the sky is a deep blue. The overall atmosphere is serene and festive.

1. 北海道小樽市

小樽の新しい景観軸の創出と夜間景観の魅力向上 [北海道小樽市]

- 小樽のまちなみは、明治22年に色内・手宮の地先の埋立てが完成し水辺に沿って石造り倉庫が建ち並んでその原形が形成され、明治から大正にかけて全国の手金金融機関の進出に伴い多くの銀行が建築された。
- 小樽における重要な景観要素であるこれらの建造物等の保全・活用などにより、観光客が増加している。

小樽を代表する景観軸の創出

- 平成6年から16年に土地区画整備事業により小樽駅前の中央通の電線類地中化、その後、駅前再開発事業を契機として景観を阻害していた中央通の広告塔及び歩道橋を撤去。
- 上記により、駅前中央通りにおいて、JR小樽駅からは海や港を、海側からは山並みやJR小樽駅を見通すことができる小樽を代表する景観軸を創出。



広告塔の撤去



歩道橋の撤去

(歩道橋の撤去について)

- 平成15年以降、景観を阻害する歩道橋の撤去について市民等から要望があり、小樽駅前の市街地再開発事業の計画段階である平成18年に、町内会や商店会等との意見交換会を実施、撤去についての同意が得られる。
- 平成18年から道路管理者である北海道、小樽警察署とも協議を重ね、平成20年に北海道により撤去された。

歴史的建造物の保全

- 市条例に基づき登録・指定した建造物について技術的援助や融資のあっせんを行うほか、外観の保全に要する経費の一部について助成。



旧金子元三郎商店の修復

<市景観条例に基づく歴史的建造物の登録・指定>

- 登録：建造物の持っている外観を極力損ねないよう保全を図る建造物
- 指定：上記のうち、特に重要な建造物

<助成等の概要>

種別	登録歴史的建造物	指定歴史的建造物
助成	助成率	対象経費の1/3以内
	限度額	上限300万円
融資のあっせん	助成対象経費から助成金交付予定額を差し引いた額以内について、市が金融機関に融資をあっせん	

夜間景観の魅力向上

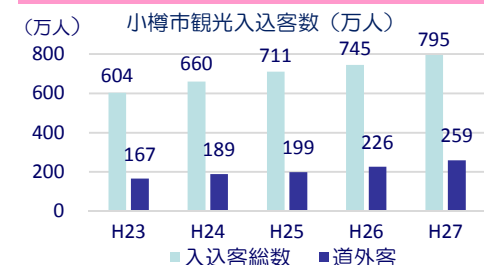
- 雪の積もる街中においてスノーキャンドルやオブジェなどを並べる「小樽雪あかりの路」を実施



小樽雪あかりの路

小樽雪あかりの路実行委員会が主催し、市民や地元商店街、町内会、企業、学校、ボランティアが協力。手宮線会場にはスノーキャンドルやオブジェを設置し、運河会場にはキャンドルを浮かべ、夜間景観を演出

施策の効果



2. 青森県弘前市



岩木山を活かした歴史的建造物の再配置 [青森県弘前市]

- 弘前市は、藩政時代になされた町割りの原形が、市のシンボルである岩木山のふもとに現在も残っている。弘前城周辺の旧城下町の区域では、社寺や武家屋敷、明治から大正時代の洋風建築など、各時代の建造物が重層的に残されている。
- これらの特徴的な景観の保全・活用を図ることで、市民の景観に対する魅力満足度の向上など、効果が見られる。

歴史的建造物の解体・保存・復原

- 仲町重要伝統的建造物群保存地区内の旧笹森家住宅について、平成7年に所有者から寄付（土地は含まず）を受け、価値が高いと判断されたことから部材を解体し、弘前市で保管していた。
- 移設先が見つかり平成24年に復原し一般公開していたところ、全国的に見て、現存する非常に珍しい中小規模の武家住宅であることから、平成28年に重要文化財に指定された。



旧笹森家住宅

歴史的建造物の活用

- 弘前公園周りの歴史的建造物を喫茶店として活用。



登録有形文化財の喫茶店としての活用

活用方法について市が公募。カフェ利用案が採用され、現在、歴史的建造物内でゆっくり時間を過ごせる人気のスポットになっている。

岩木山の眺望確保のための景観阻害物の除却

- 市のシンボルである岩木山の眺望を確保するために阻害となる橋の照明灯等を除却



市民からの意見を踏まえ、岩木山の眺望を確保するため、橋上の照明灯を別の場所に移設。残りの照明灯の明るさを上げる代替措置も実施。



広告主の協力により、屋外広告物の撤去を実施。

歴史的景観の復元

- 重要伝統的建造物群保存地区内の無電柱化等により、武家屋敷等の歴史的建造物に調した道路空間を整備。

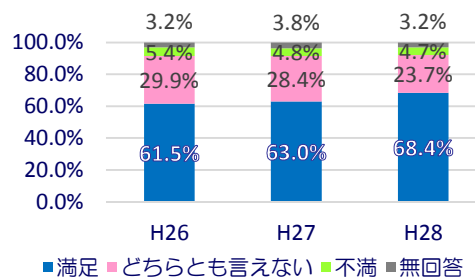


〈整備内容〉 ・電線共同溝による無電柱化
・石畳風舗装、消流雪溝の設置

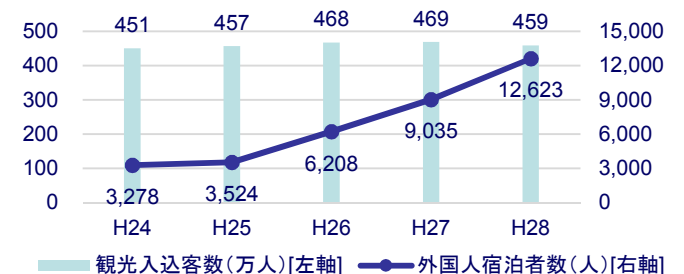
〈整備延長〉 1.610m

施策の効果

弘前の景観の魅力についての満足度

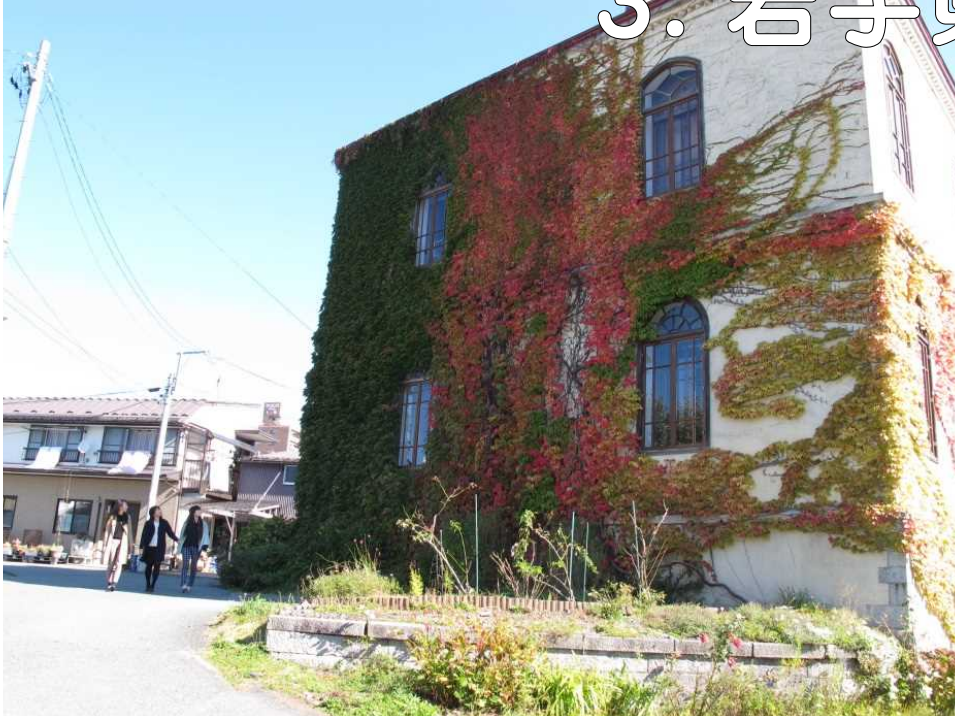


観光入込客数及び外国人宿泊者数





3. 岩手県盛岡市



空き蔵を一体的に活用した観光拠点施設等の整備 [岩手県盛岡市]

- 盛岡市大慈寺地区（南大通二丁目・三丁目、大慈寺町、鉦屋町、神子田町及び茶畑二丁目の地内）は、江戸時代に城下町として発展し、現在も風情を残す歴史的まちなみが残されている。
- このような景観を観光資源として活用するとともに、地域住民による景観の演出などにより観光客が増加している。

空き蔵を活用した拠点施設「もりおか町家物語館」の整備

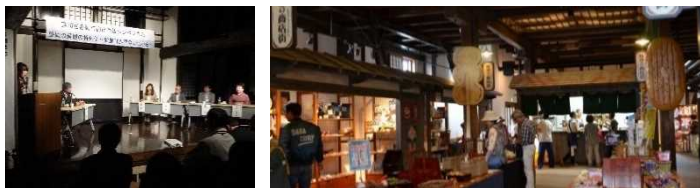
- 旧岩手川酒蔵鉦屋町工場跡地において、母屋、文庫蔵、浜藤の酒蔵（市指定文化財）及び大正蔵の4棟を改修するとともに、一体的に多目的広場等を整備して、地区の魅力を伝える拠点「もりおか町家物語館」として活用。
- 案内所やお休み処、展示や販売、各種イベントの開催等に活用し、新たに賑わいが創出されている。



浜藤の酒造の改修



もりおか町家物語館



浜藤の酒造（集会室）

大正蔵（販売フロア）

酒蔵だった広々とした空間を活かし、舞台機能を持った集会室や、昔懐かしい盛岡の賑わいや風情を再現した販売フロア、酒造りの工程などを、当時の写真や道具などを使って振り返る常設展示等として活用。

歴史的建造物の修景

- 歴史的まちなみの保存・活用を図るため歴史的建造物の修景に対し助成。



盛岡町家

<助成概要>

- 補助率 1/2
- 限度額 公開:300万円、非公開:200万円
※工事完了後5年以上内部を公開する歴史的建造物の場合、限度額を優遇。

地域住民による夜のまちなみ景観の演出

- 伝統に基づく地域の住民の活動が、夜のまちなみ景観を演出。



迎え火・送り火

昔から絶えることなく、お盆行事として各家々で迎え火、送り火が行われている。夕刻暗くなると、町家に限らず鉦屋町の殆どの住宅の軒下で一斉にかがり火が焚かれる。

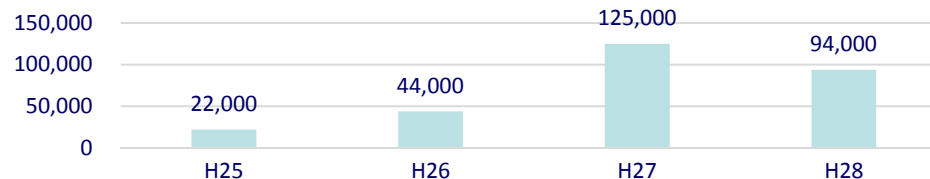


盛岡舟っこ流し

盛岡市指定無形民俗文化財に指定されている行事。夕刻、堤灯やお供え物などで飾り北上川に浮かべられた舟に火が灯される。灯籠流しと共に、先祖の霊をおくり無病息災を祈る。

施策の効果

大慈寺地区への年間訪問者数（人）



4. 宮城県登米市



商家や武家屋敷等の各地域の景観特性を活かしたまちづくり とめ [宮城県登米市]

- 登米市登米町寺池地区てらいけには、国指定重要文化財の旧登米高等尋常小学校（教育資料館）や旧登米警察署庁舎（警察資料館）など明治初期の文明開化をしのばせる洋風建築物、また藩政時代の武家屋敷や商家、土蔵などが残っている。
- このような歴史を感じるまちなみの景観の保全を市民と行政が連携して進めることで、観光客が増加している。

地域特性を活かしたまちづくり

- 商家通り地区や武家屋敷通り地区など、各地域で特色のある景観が形成されており、それぞれ景観計画区域を分けて特徴を活かしたまちなみになるよう誘導。

【商家通り地区】

明治初期の洋風建築や蔵造り商家が点在し、北上川舟運による米穀の集積地として繁栄し賑わったかつての面影を感じさせるまちなみが形成されている。



旧登米高等尋常小学校
(明治22年築)



旧登米警察署庁舎
(明治21年築)

【武家屋敷通り地区】

仙台伊達一門の城下町として栄え、白壁を連ねた武家屋敷が風情を感じさせるまちなみが形成されている。



冬の武家屋敷通り

住民と行政による勉強会の開催

- まちづくりへの関心を高めるとともに、身近な景観、文化財の保護、活用について知識を深めるため、みやぎ景観アドバイザーを招き、地元住民と行政による勉強会を開催。



勉強会の様子

建築物等の整備に対する助成

- まちなみに合った建築物等を整備する際に経費の一部を補助している。



居宅（改修後）



飲食店（改修後）



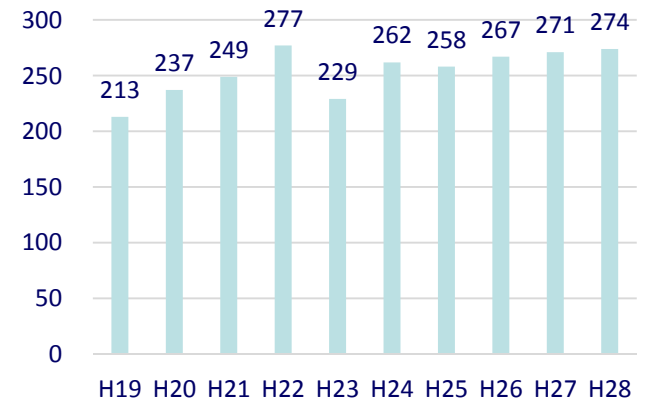
白壁（改修後）

〈助成制度の概要〉

- ・補助対象：住宅の新築・改築、門・塀等の外構整備等 補助率：1/2又は整備毎に決められた補助額の少ない額
- ・補助実績：22件（H19～28）

施策の効果

登米市観光地点入込数（万人）





5. 秋田県仙北市

「みちのくの小京都」^{かくのだて}角館の景観づくりと観光振興 [秋田県仙北市]^{せんぼく}

- 仙北市角館地区は、深い木立と重厚な屋敷構えが今もなお藩政時代の面影を残す街であり、みちのくの小京都と呼ぶのにふさわしい風情を町全体に漂わせている。
- この歴史的なまちなみを観光資源として活用するため、周囲を含めた景観形成を図ることにより観光客の増加等が見られる。

武家屋敷通りのファサード修景

- 武家屋敷通り沿いには、連続する黒板塀に沿ってシダレザクラやモミが深い木立を形成しており、重要伝統的建造物群保存地区の中でも独特の景観が形成されている。
- この黒板塀を整備し、かつての武家屋敷通りを復元している。



黒板塀の整備によるかつての武家屋敷の復元



黒板塀とシダレザクラや紅葉が見られる武家屋敷通り

都市計画道路の整備と景観協定に基づく沿道景観の統一

- 武家屋敷通りの玄関口にあたる都市計画道路「横町線」の拡幅では、伝統的な角館らしいまちなみに配慮し、無電柱化、デザイン照明灯、県産材である男鹿石を使った自然石舗装などの修景整備を実施。
- この事業を契機に、地元の店舗などが角館町歴史的景観条例に基づく協定を締結し、沿道の建物は町家風の意匠に統一が図られた。



沿道にあった国指定天然記念物のシダレザクラを伐採せず取り込むように歩道を設置



協定に基づき調和のとれたまちなみ

- 〈景観に関する協定の概要〉
- 建築物の用途は、店舗や住宅とし、風紀を阻害するものは避ける。
 - 建築物の位置は、歩行者空間を豊かにするため、道路境界線よりできるだけセットバックする。
 - 建築物の色彩は、白・灰・黒・茶系統の人に優しい落ち着いた色彩を基調とする。
 - 屋外広告物は景観に調和するデザインとするよう工夫する。等

施策の効果

横町線の沿道にはホテルや店舗などが進出し民間投資が誘発されている。



ホテル



コンビニエンスストア



地方銀行



6. 山形県山形市



中心市街地における歴史的資源の活用による潤いと賑わいの創出 [山形県山形市]

- 明治維新後県都として栄えた山形市には数多くの洋風建築物が建てられ、戦災の影響が少なかったことから、大正から昭和時代の蔵や町家などを含めた歴史的建造物が現在でも多数残されている。
- これらの建造物の活用とともに街なかには流れるかつての水路を親水空間として再生するなど、賑わいが創出されている。

官民連携による御殿堰の復元と賑わいの創出

- 約400年前に生活用水や農業用水の確保のために作られ、その後、暗きょ化された「御殿堰」を復元するとともに、沿川に遊歩道と町家風の商業施設を一体的に整備。
- 整備内容は、行政と地権者、民間事業者で「七日町活性化拠点づくり協議会」を組織して決定。あわせて行政と民間事業者が適切に役割分担を行い、整備。



復元された御殿堰



御殿堰（右手前）と一体的に整備された商業施設（左）

【行政と民間事業者の役割分担】

- (行政)
- ・暗渠となっていた御殿堰の整備
 - ・建物をセットバックして石畳舗装の遊歩道の整備
- (民間事業者)
- ・水路沿いには町家風の商業施設を整備し、一体的な空間を創出

【協議会設立の経緯】

御殿堰周辺の再開発事業予定地にあわせ、当該地においても整備方針を検討していくため、平成20年に協議会が組織された。

旧小学校等の歴史的建造物の活用

- 旧小学校や商人の旧家屋等の歴史的建造物をリノベーションして、交流施設等として活用。



旧小学校のリノベーションして交流施設として活用

県内初の鉄筋コンクリート構造の旧小学校をリノベーションし、イベントスペースやミニシアター、ギャラリースペース等の機能を有する交流施設として整備。

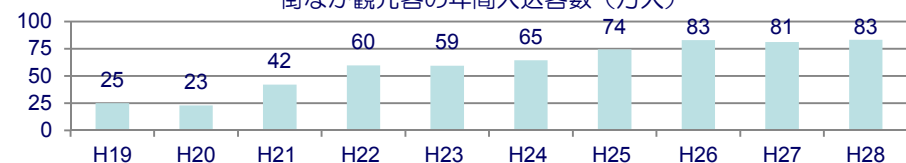


山形まるごと館 紅の蔵

かつての紅花商人の旧家屋を、山形の特産物や食文化を体感できる施設に改修

施策の効果

街なか観光客の年間入込客数（万人）





7. 福島県白河市



城下町「白河」の景観まちづくりと賑わい創出 [福島県白河市]

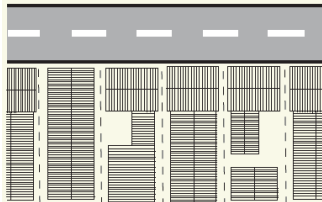
- 白河市の中心市街地には、市のシンボルである小峰城跡三重櫓、ステンドグラスと赤瓦が特徴的な「JR白河駅舎」等の歴史的資源が残っている。かつての町人町である旧奥州街道（国道294号）沿いには、現在も当時の短冊状の敷地割りや町境ごとに力ギ形状の街路が残り、沿道には伝統的な店構えの商家や蔵などが多い。
- このような歴史的まちなみについて、街路整備や住民主体でルールを定め保全・創出を図ることで、観光客が増加している。

住民発意の「景観まちづくり協定」

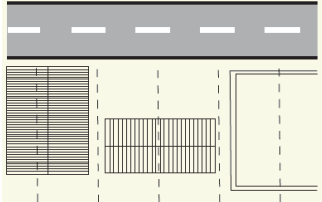
- 地域の良好な景観形成を推進するため、住民自ら景観まちづくり協議会を組織して建造物の形態意匠等の基準を定める景観協定を締結。現在4地区で協定が締結され、条例に基づき市から認定されている。

(協定の例) 白河門前通り景観まちづくり協定

建物配置の制限




○ 歴史的な短冊状の敷地割りを継承した建物配置とする




✗ 歴史的な短冊状の敷地をまたぐ建物配置は避ける

壁面意匠の制限



○ 道路に面する開口部は木製格子戸など見通しのきくものとする



✗ 閉鎖的な印象を与えるシャッターなどは避ける

協定に基づく景観づくり

- 景観まちづくり協定に基づき、旧奥州街道等の沿道景観形成のため、建築物の修景として瓦屋根、格子戸を設置するほか、建築物前面における木製の建具の設置や緑化等により、歴史的なまちなみを維持。
- 協定が認定された地区では、市が建築物や外構の外観修景について、補助により支援している。



建築物の外観修景（酒店）



外構の外観修景（衣料店）

- 補助制度の概要
 建築物の外観修景：補助率1/2 最大80万円
 外構等の外観修景：補助率1/2 最大30万円
 ○ 補助実績 H24～H29までに23件

駅周辺でのイベント開催

- 駅周辺の空間を活用した各種イベントの開催により賑わいを創出。



ご当地キャラこども夢フェスタinしらかわ



白河関まつり

- 過去実施されていた白河関まつりにおける踊り流しを、東日本大震災を契機に地域復興のため復活。県、市、住民等が参加。

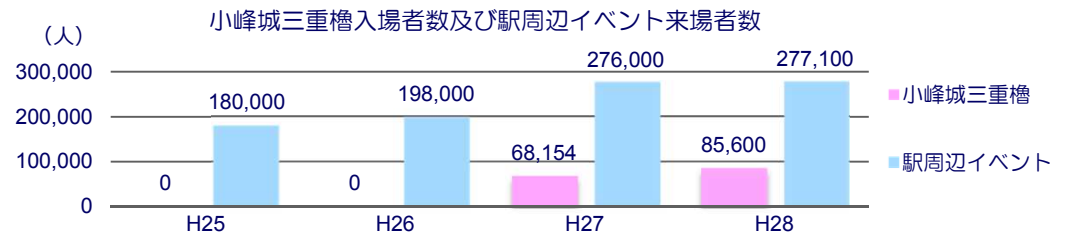
景観まちづくり協定締結に向けての支援

- 景観まちづくり協定の締結に必要な調査、検討、ワークショップの企画・運営、情報誌の発行・配付、視察研修等に要する費用への補助。



検討会の様子

施策の効果





8. 茨城県大洗町

アニメと現実が融合したまちづくり [茨城県大洗町]

- 大洗町の中心部に位置する大洗町商店街は、古くから町の経済の中核を担い発展し、昭和の時代を感じさせるまちなみが今も残っている。
- 近年では、大洗を舞台としたアニメの放映を契機に商店街が団結してまちづくりに取り組み、観光客が増加している。

アニメのシーンをまちで再現

- 大洗町の風景が忠実に再現されているアニメで起きた出来事を、実際にまちにおいて再現。



アニメの砲撃シーン



アニメで砲撃されたホテルに砲弾跡を再現

ラッピング鉄道等の運行

- 鉄道及びバス会社が、車両をラッピングし、町内外を走行することで地域全体で盛り上げ。



ラッピング車両



ラッピングバス

観光交流の促進

- 商店街において、パネルの設置やスタンプラリーの開催など、様々な取り組みにより、まちなみを演出。町の魅力を物語の力によって引き出し、来訪者と地域住民が交流することにより、新しい「大洗ファン」を育て賑わいという実りを結んでいる。

【各種イベントの開催】

キャラクターのパネル（全56体）を探して歩くイベントやクイズラリー、スタンプラリー等を実施。



設置されたキャラクターと商店主の等身大パネル



イベントで活気に溢れる商店街

【大洗あんこう祭との連携】

アニメのメインキャストが大洗あんこう祭においてトークショーを実施。来場者にアニメと大洗の魅力を伝える。



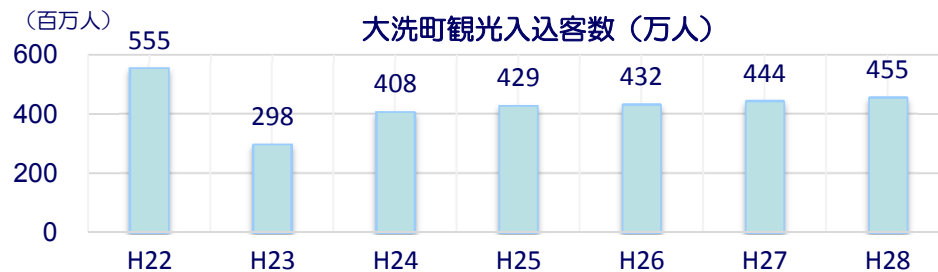
アニメのメインキャスト



あんこう吊るし切り

名産品であるあんこうの吊るし切りの実演やグルメの販売を実施。

施策の効果





市民との美化活動から始まった「蔵のまち」の再生 [栃木県栃木市]

- 江戸時代から日光例幣使街道の宿場や、巴波川の舟運による商都として栄えた「蔵のまち」は、現在もその周辺に見世蔵や土蔵を中心とした数多くの蔵づくりの建物が残されており、歴史的まちなみを形成している。
- このような歴史的まちなみの保全や河川の再生などにより、観光客の増加が見られる。

住民との美化活動による巴波川の再生・活用

- かつて全国ワースト2位まで水質が悪化した市の中心部を流れる巴波川を、昭和55年から地元自治会とともに年3回の一斉清掃により浄化・再生。
- 巴波川を景観資源として活用するため、川沿いの歴史的建造物の回遊ルート^{にっころいへいしかいどう}の整備や、NPO団体による遊覧船の運行などがされている。



地元住民との美化活動



回遊ルート
(御影石や擬木等により土蔵、旧家等と調和)



うすまの鯉のぼり



毎日運行されている遊覧船

アーケードの撤去と建築物の外観修景

- 歴史的まちなみを再生するため、歩道橋や約900mアーケードを撤去するとともに、電線の地中化を実施。
- 修景基準を設けた上で建築物の外観を修景し、調和のとれたまちなみ景観形成を推進。



※外観修景：延べ112軒(H21-H28) ※修景基準：原則、壁面は黒又は白、アーケードは取り外す等

空蔵を観光交流の核となる施設として活用

- 大通り沿いの空蔵を観光館や美術館、カフェ等として整備・活用



蔵の街観光館(H9改修)



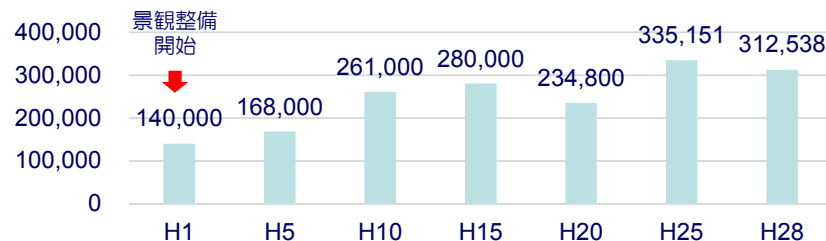
蔵の街美術館(H14改修)



カフェ「パーラーとちぎ」(H28改修)

施策の効果

蔵のまちにおける年間の観光入込客数(人)





10. 群馬県草津町

温泉街における観光客の心をくすぐる付加価値の創出 [群馬県草津町]

- 草津町は、江戸時代に地域のシンボルである「湯畑」を取り囲むように数多くの湯屋がつくられ、その湯屋を取り囲むように湯宿が建ち並んだことによりまちが発展していった。
- これらの地域資源（温泉施設）を活かした取組みにより、観光客数が増加している。

まちを巡る3つの新たな名所づくり

- ▶ 湯畑広場に面し駐車場に使われていた敷地等において、3つの拠点を整備することで、まちの魅力が向上。

こざのゆ
「御座之湯」再建
～明治時代に途絶えた幻の湯屋～

擁壁の補強・修景工事に始まりライフラインや電線を共同溝による地中化、そして建物は、草津の伝統的な切妻の板葺き屋根を再現。共同湯では湯治を体験できる。



ゆじひろば
「湯路広場」の整備
～湯畑を劇場に変える～

浴衣姿でそぞろ歩きの楽しめる空間として、木回廊と石畳の棚田風の多目的広場。棚田に腰掛け湯畑を眺めたり、棚田がそのままイベント広場になる。



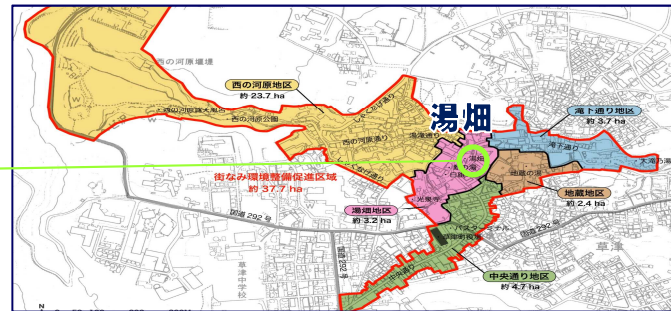
あつのゆ
「熱乃湯」の再建
～湯もみの伝統を伝え、娯楽の中心を再生～

新生熱乃湯の建物は裏側が無いよう室外機などが隠蔽され、周辺は狭い路地としても利用。また、ガス灯が配置され、大正ロマンの趣を残す。



「湯畑」へ繋がる5地区における景観協定の締結

- ▶ 湯畑とその周辺では、各地区で自ら景観に関するルールを定めるまちづくり協定を締結し、住民自らがまちづくりを行う。



- 凡例
- 湯畑地区
 - 西の河原地区
 - 滝下通り地区
 - 地蔵地区
 - 中央通り地区

- 協定の例（湯畑地区）
- <理念>
- ・温泉情緒溢れる「和」の街なみ
 - ・自然を感じる街なみ
 - ・景観資産を引き立てる街なみ
 - ・素材感と落ち着きのある色調



滝下通り地区



西の河原地区

温泉街の演出

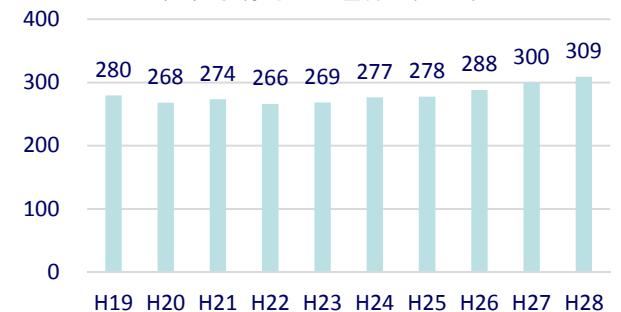
- ▶ 年間通して湯けむりのゆらぎをライトアップし、草津ならではの「そぞろ歩き」を常に楽しめるように演出。



湯畑のライトアップ

施策の効果

草津町観光入込客数（万人）





11. 埼玉県川越市

小江戸川越の蔵造りのまちづくり [埼玉県川越市]

- 川越市は、江戸への物資の集散地として発展し、小江戸と呼ばれるほどの繁栄したまちである。明治26年の大火により多くの建造物が焼失したが、焼け残った建物が伝統的な工法による蔵造りであった事に着目し、商人たちが相次いで蔵造り建築による店舗を建てた。
- このようにして形成された蔵造りのまちなみを現在でも面的に保存することで、この地域を訪れる観光客が増加している。

きめ細かな補助制度により歴史的建造物の面的な保存・外観修景

- 重要伝統的建造物群保存地区内の建造物と景観重要建造物のそれぞれについて、補助制度を設け、数多くの歴史的建造物を保存することでまちなみを保全。

【重要伝統的建造物群保存地区内の建造物】



蔵造りの建造物の鋼板によるファサードをかつての外観に復元、壁面を黒漆喰により修繕。



周囲のまちなみと調和するよう、前面を蔵造り外観に修景。

区分	補助率	上限額
特定されている伝統的建造物の修理	4/5以内	1,600万円
伝統的建造物の建築様式に準じた新築、改修等	3/5以内	600万円
歴史的風致との調和、景観に寄与する新築、改修等	2/5以内	300万円

行為ごとの補助率等（重伝建内）

【景観重要建造物】



建造物の前面部を撤去し、かつての外観を復元



傷みが進んだ上屋の瓦のスレ直し、2階壁面並びに軒裏の剥離した漆喰の修繕

行為	補助率等
外観の工事	工事費の3/5以内の額又は600万円の内のいずれか少ない額
外観の工事のうち工作物に係わるもの	工事費の3/5以内の額又は60万円の内のいずれか少ない額
防火設備工事	
鳥虫害等防除工事	

行為ごとの補助率等（景観重要建造物）

「町づくり規範」に基づく官民協働の空間整備

- 川越一番街商業協同組合が「町並み委員会」を発足、歴史的資産を活かしたまちづくりのルール「町づくり規範」を策定。自主的にまちなみの修景を実施。
- 行政は中央通りを無電柱化し一体的に整備。トランスボックスは住民の協力を得て民地に設置し景観に配慮。



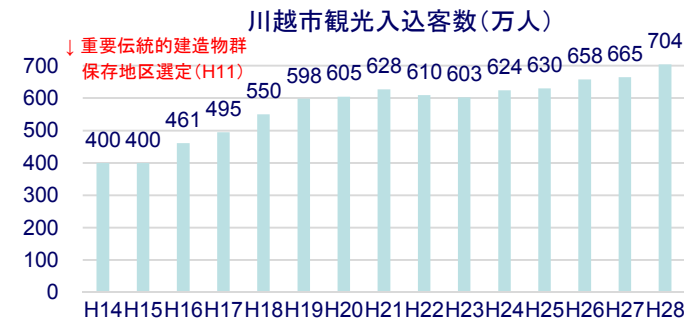
蔵造りのまちなみと中央通り線

都市分野…「職住一体」、「身近にみどり」
 建築分野…「主要な棟や建物が目立つように」、
 「材料は自然的素材、地場産を優先」等

町づくり規範（例）

改装、改築をする際には、施主、設計者、建設業者らの説明を受け、67項目を審査し、規範に合わないものは委員会がアドバイスを行う。

施策の効果





12. 千葉県香取市

地域住民や学生との協働によるまちづくり [千葉県香取市]

- 江戸時代から利根川水運により繁栄した佐原地区には、現在でも、江戸時代末期から昭和時代前期の町家、蔵造りの店舗建築、洋風建築などが残っており、特に香取街道、小野川沿い、下新町通りなどにおいてそのまちなみが良くみられる。
- これらの建築物の保全・活用、住民団体等との協働によるまちづくりなどにより、観光客が増加している。

建築物の外観修景

- 往時のまちなみを復活させるため、建築物を改修し鋼板の外壁や屋根を木板張の壁、瓦屋根とする他、面取りを撤去することなどにより歴史的建造物を復元。

家具屋の改修



本屋等の改修



歴史的建造物の活用

- 旧東京三菱銀行を改修し、まちづくり・観光の拠点として活用
- 案内受付、展示スペース、トイレを整備
- 館内では、住民団体による企画展示や観光案内が行われている。



旧東京三菱銀行



企画展示の様子

住民や学生との協働によるまちづくり

- 住民団体の自主的なイベント開催や、学生を巻き込んだまちづくりの検討により、地域全体でまちづくりを実施。



まちづくりについて大学生に提案をしてもらい、最優秀作品には実際に整備を実施。写真は路地沿いに板塀を設置したもの。



住民団体の主催の骨董市

重要伝統的建造物群保存地区の外では人の流れがなく、住民のまちづくりに対する意識が低下。

地区外で骨董市を開催することで、来訪者の回遊性を向上させるとともに、住民のまちづくりの意識の向上を図る

施策の効果

重要伝統的建造物群保存地区内の観光客入込数（万人）

